

次期熊本市生涯スポーツマスタープランの 経緯・現状について



次期「熊本市生涯スポーツマスタープラン」

経緯

【熊本市生涯スポーツマスタープランとは】

平成12年（2000年）から10年ごとに策定している、本市の“スポーツ振興のあり方・方針”を示す計画。スポーツを取り巻く環境の変化・社会の変化に伴い、国・県の計画や本市の「総合計画」などの各種計画・プランに沿って、市民のニーズを把握し、達成目標を定め、着実にスポーツ振興を図ることを目的に策定。

「熊本市生涯スポーツマスタープラン」（以下、「マスタープラン」という）が平成12年（2000年）～平成21年（2009年）、「第2次マスタープラン」が平成24年（2012年）～令和2年（2021年）を計画期間として策定しており、新型コロナウイルス感染症の5類感染症移行後、市民のライフスタイルの変化や人口減少などの社会状況の変化を踏まえ、次期マスタープランを令和6年度（2024年度）に策定する。

●スポーツに関する法律・計画の変遷

昭和36年（1961年）	スポーツ振興法 制定
平成11年（1999年）	熊本市「熊本市スポーツ都市宣言に関する決議」
平成12年（2000年）	熊本市「熊本市生涯スポーツマスタープラン」策定
平成23年（2011年）	スポーツ基本法制定（スポーツ振興法が50年ぶりに改正）
平成24年（2012年）	文部科学省「第1期スポーツ基本計画」策定
平成24年（2012年）	熊本市「第2次熊本市生涯スポーツマスタープラン」策定
平成28年（2016年）	熊本地震
令和2年（2019年）～	新型コロナウイルス感染症感染拡大
令和4年（2022年）	文部科学省「第3期スポーツ基本計画」策定
令和5年（2023年）	新型コロナウイルス感染症5類へ移行
令和7年（2025年）	熊本市「第3次熊本市生涯スポーツマスタープラン」策定予定

次期「熊本市生涯スポーツマスタープラン」

目的と体系イメージ

【第3次熊本市生涯スポーツマスタープランについて】

これまでの施策の評価や本市のスポーツの現状と課題を明らかにし、多様化する社会の中で、コロナ禍以降の市民のライフスタイルの変化や人口減少などの社会状況の変化を踏まえ、様々な年代の市民が生涯にわたってスポーツを楽しめる環境を整備し、その成果を地域でいかすことができる仕組みを根付かせるため、第3次熊本市生涯スポーツマスタープランを策定する。

現状分析や市民ニーズの把握（アンケート調査等）を行い、本市がこれからスポーツ振興に取り組んでいくための基本理念やめざす姿、基本施策など体系的に整理し計画を策定する。

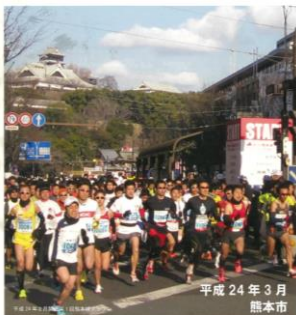
参考：第2次熊本市生涯スポーツマスタープラン

第2次マスタープランの施策体系

基本理念

誰もが健康で、生涯にわたりスポーツに親しみ、様々なスポーツを通して交流ができる、豊かなスポーツライフにつなげる、「スポーツ交流都市」を目指します。

第2次 熊本市生涯スポーツマスタープラン
2012-2021



めざす姿

みんなが
スポーツで
交流都市
いきいき
くまもと

基本施策

基本1 スポーツ機会の充実

基本2 スポーツ競技力の向上

基本3 スポーツコンベンションの推進

基本4 スポーツ情報の提供

基本5 スポーツ施設の整備・機能充実

施策

ア 地域スポーツ活動の支援	★【重点施策】
イ スポーツを通じた健康・体力づくりの推進	★【重点施策】
ウ スポーツ関係団体・企業との連携	
エ スポーツを支える人材の育成	
オ 自然体験型スポーツ環境の充実	
ア スポーツ関係団体との連携	★【重点施策】
イ スポーツ医学の活用	★【重点施策】
ウ スポーツを支える人材の育成	
エ スポーツ顕彰制度の活用	
ア 国際・全国レベルのスポーツ大会等の開催・誘致	★【重点施策】
イ スポーツ関係団体との連携	
ウ スポーツを支える人材の育成	
ア スポーツ情報システムの充実	★【重点施策】
イ スポーツ関係団体との連携	
ウ スポーツ推進に関する調査・研究	
ア スポーツ施設の機能充実・利便性の向上	★【重点施策】
イ 熊本県・市町村公共施設案内予約システムの活用	
ウ スポーツ施設の維持管理	

次期「熊本市生涯スポーツマスタープラン」

策定について

第3期スポーツ振興計画 | 令和4年度～令和8年度 | スポーツ庁

【2期⇒3期】

国民がスポーツを「する」「みる」「ささえる」
ことを真に実現できる社会を目指す。



【3つの新たな視点】

- ★つくる／はぐくむ
- ★あつまり、ともに、つながる
- ★誰もがアクセスできる



【重点施策】

- ① 東京大会の成果を一過性のものとし、持続可能な国際競技力の向上
- ② 東京大会を契機とした**共生社会の実現**や**多様な主体によるスポーツ参画の推進**
- ③ 東京大会に向けて培われた**官民年ネットワーク等**を活用したスポーツを通じた国際交流・貢献
- ④ **安全・安心**に大規模大会を開催できる運営ノウハウの継承
- ⑤ 東京大会で高まった**地域住民等のスポーツへの関心の高まり**を活かした**地方創生・まちづくり**
- ⑥ 東京大会の開催時に生じた**スポーツを実施する者の心身の安全・安心確保**に関する課題を踏まえた取組の実施

熊本市生涯スポーツマスタープラン

熊本市第8次総合計画
令和6年度～令和13年度 | 熊本市

【めざすまちの姿】上質な生活都市

【8つのビジョン】

- 1 こどもが輝く、若者が希望を抱くまち
- 2 **市民に愛され、世界に選ばれる、**

持続的な発展を実現するまち

- 3 市民生活を守る強くしなやかなまち
- 4 だれもが自分らしくいきいきと生活できるまち
- 5 豊かな環境を未来につなぐまち
- 6 **すべての市民がより良い暮らしを営むまち**
- 7 安全で良好な都市基盤が整備されたまち
- 8 市民に信頼される市役所

3つの横断的視点

- ① SDGsの推進
- ② デジタル化・DXの推進
- ③ 市域を超えた広域的な連携強化



2-3 交流人口拡大によるにぎわいの創出
熊本の特性を生かしたMICE誘致の推進とイベント・スポーツ大会の開催

6-3 生涯にわたる学びやスポーツの推進
ライフステージに応じた生涯スポーツの推進

関連計画

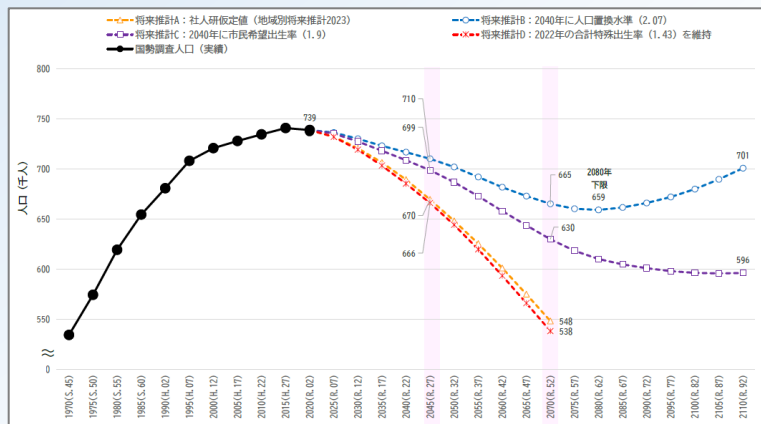
- 第2期スポーツ推進計画【熊本県】
- 教育振興計画
- 第2次生涯学習推進計画
- 観光マーケティング戦略
- 第2期国際戦略
- 第2期MICE誘致戦略
- 進めよう！健康くまもと21 ～熊本市健康増進計画～
- 第9期くまもとはつらつプラン
- 障がい者生活プラン
- こども輝き未来プラン2020
- 中心市街地活性化基本計画
- SDGs未来都市計画 など...

次期「熊本市生涯スポーツマスタープラン」

情報整理

直面する問題・課題

全国な傾向と同様、本市においても人口減少が進行しており、これに伴う人口構造の変化による様々な経済的・社会的影響が想定されている。



引用)「熊本市人口ビジョン(令和6年3月)」総人口の将来推計

本計画のスポーツのとらえ方と検証指標

本計画のスポーツのとらえ方

「する」「みる」「支える」

検証指標

週1回以上、30分以上のスポーツを行っている人
R9年度：58%以上 R13年度：60%以上

スポーツに期待される価値

このような状況の中で、スポーツに今まで以上に期待される価値を以下のとおり整理する。

スポーツを
することによる
健康維持・増進

スポーツを
みることによる
精神的充足

スポーツを
支えることによる
コミュニティの
拡大

次期熊本市生涯スポーツマスタープランの策定目的

「熊本市生涯スポーツマスタープラン」(以下、「マスタープラン」という)の施策の評価及び現時点での本市のスポーツの現状と課題を明らかにし、多様化する社会の中で、市民のライフスタイルの変化・人口減少などの社会問題を踏まえ、様々な年代の市民が生涯にわたってスポーツを楽しめる環境を整備し、その成果を地域でいかにすることができる仕組みを根付かせるため、官民学一体となって、本市における今後の生涯スポーツの指針を策定する。

スポーツを「楽しむ」ことが重要

次期「熊本市生涯スポーツマスタープラン」 コンセプトイメージ図

